

受験生の皆さんへ

『 水稲作への未利用資源の活用と、気象災害軽減による生産性向上 』

山形大学農学部安全農産物生産学コース

准教授 森 静香 (MORI, Shizuka)



未利用資源の成分分析



未利用資源
現地調査



未利用資源利用試験



潮風害(塩分付着害)の再現



潮風害を受けた水田

1. 未利用資源の農業利用の研究

水稲が必要な養分は、主にケイ酸、窒素、りん酸、カリです。養分供給・環境保全の視点から、未利用資源の資材化について検討を行っています。産業的副産物、廃棄物や、植物体の農業利用に取り組んでいます。

2. 潮風害、高温害などの軽減技術の研究

地球温暖化に伴う高温障害、台風による潮風害は、水稲の生産性(収量・品質など)を低下させます。これらの被害を軽減する技術開発に取り組んでいます。

3. 効率的なケイ酸供給技術の研究

異常気象や病虫害などの外部ストレスの軽減に、ケイ酸は有効です。土壌・資材・水などの多方面からの水稲への効率的なケイ酸供給に関する研究を行っています。

農業現場の技術者・指導者・研究者や、田畑(フィールド)での研究に興味がある方、一緒に研究してみませんか？

専門分野: 作物学

自己紹介: 山形県庄内地域の産・学・官
すべて在職経験ありの庄内人です

連絡先: 0235-28-2823

e-mail: shizukamori@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

